

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 1	理念・目的
------	-------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0101	大学の基本理念・使命・教育目的を適切に設定していますか。また、それを踏まえ、学部・研究科の教育研究上の目的を適切に設定していますか。	(2)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的は、教育組織の特色を明確にしたものですか。	A
		(3)学部(学科)・研究科(専攻)の育成する人間像は、明確ですか。	A
		(4)学部(学科)・研究科(専攻)の教育研究上の目的と大学の基本理念・使命・教育目的は、関連性があるものになっていますか。	A
0102	大学の基本理念・使命・教育目的および学部・研究科の教育研究上の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員および学生に周知し、社会に対して公表していますか。	(1)学部(学科)・研究科(専攻)の目的や人間像は、適切な媒体を使って明示していますか。 ・明示媒体(例えば学生便覧とHPなど)によって記述の齟齬	A
		(2)教職員、学生、社会に対する刊行物、ウェブサイト等により大学の基本理念・使命・教育目的、学部・研究科の教育研究上の目的等が周知および公表されていますか。 ・構成員(教職員および学生)への周知	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0101・0102 「学生便覧」により、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性を在學生に示している[0101・0102a] 「国際関係学部教育理念・使命ポスター」により、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性を在學生に示している[0101・0102b] 「国際関係学部教育理念・使命クリアファイル」により、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念との関連性を在學生に示している[0101・0102C] 「中部大学情報公表」HPにおいて、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を学内外に示している[0101・0102d] 「中部大学国際関係学部」HPにおいて、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を学内外に示している

[0101・0102e] 「中部大学国際関係学部国際学科パンフレット」の1ページ目に、本学部の教育研究上の目的および大学の基本理念を掲載し、入学・受験希望者とその父母を中心とする学外に対して示している[0101・0102d]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0101・0102	「国際関係学部教育理念・使命ポスター」について、設置されている位置が在学生にとって常に目に付く位置にあるか、再度の検討が必要である。
項目 No.0101・0102	「中部大学情報公表」HPにおいて、国際学科の教育研究上の目的が記載されていない。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
新入生に対して、特に「国際関係学部教育理念・使命クリアファイル」の入学式当日の入学宣誓署名会場での全員への配布により、大学・学部の理念を周知した。[0101・0102C]	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0102	学部学科の目的・人間像の公表について、新規・既出を問わず、齟齬の有無と、よりわかりやすい表現への変更について、学部の自己評価・点検委員会による点検・検討を行う。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0101	a	A	「中部大学国際関係学部国際学科設置届出書」抜粋
0101	b	A	「中部大学国際関係学部国際学科パンフレット」 p.13-16
0101・0102	a	A	「学生便覧 2017年度」①・③
0101・0102	b	A	「国際関係学部教育理念・使命ポスター」図版
0101・0102	c	A	「国際関係学部教育理念・使命クリアファイル」図版
0101・0102	d	A	中部大学国際関係学部ホームページ「学部概要」 https://www3.chubu.ac.jp/international/about/
0101・0102	e	A	中部大学情報公表ホームページ「教育研究上の目的 国際関係学部」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/aim_international/
0101・0102	f	A	「中部大学国際関係学部国際学科パンフレット」 p.1
0102	a	A	平成26年度第8回国際関係学部教授会議事録(抄)

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 2	内部質保証
------	-------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0203	方針および手続に基づき、内部質保証システムは有効に機能していますか。	(4)外部評価(学内内部評価を含む)を自己点検・評価に取り入れていますか。	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。	
0203 2016 年度の教育活動顕彰制度の学部ポイント算出について、教授会構成員に確認の後に実施した [0203a]。 9 月 8 日・9 日に行われた「運営企画研修会」の議題について、本学部の質保証に資するため、学部長から教授会構成員への情報共有を行った [0203b]。 2018 年度「教育活動顕彰制度」における学部ポイント算出の変更について、第 9 回教授会で概要の説明を行った後、第 10 回教授会で審議・承認の後、決定した [0203c・d・e]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No. 0203	対象年度に至るまで、学内内部評価を含む外部評価を本学部の自己点検・評価に取り入れることができていない。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 向上・改善の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

--

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0203	今回の詳細点検のピアレビューの評価を学内内部評価として真摯に受け止め、本学部の今後の自己点検・評価に資していきたい。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0203	a	A	平成 29 年度第 1 回国際関係学部教授会議事録 (抜粋)
0203	b	A	平成 29 年度第 5 回国際関係学部教授会議事録 (抜粋)
0203	C	A	平成 29 年度第 9 回国際関係学部教授会議事録 (抜粋)
0203	d	A	平成 29 年度第 10 回国際関係学部教授会議事録 (抜粋)
0203	e	A	「教育活動顕彰制度」改定案

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果 (1)

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0401	授与する学位ごとに、卒業認定・学位授与の方針(DP)を定めて、公表していますか。	(1)課程修了にあたって、学生が修得することが求められる知識、技能、態度等、当該学位にふさわしい学習成果を明示した卒業認定・学位授与方針(DP)の適切な設定を行い、公表をしていますか。 ・当該学位にふさわしい学習成果の設定 ・卒業認定・学位授与方針(DP)の設定	A
0402	授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針(CP)を定めて、公表していますか。	(1)学位ごとに、教育課程の体系、教育内容を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(2)学位ごとに、教育課程を構成する授業科目区分、授業形態等を備えた編成・実施方針の設定になっていますか。	A
		(3)授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を社会に対し、公表していますか。	A
		(4)卒業認定・学位授与の方針(DP)と教育課程編成・実施の方針(CP)は適切な連関性となっていますか。 ・「卒業認定・学位授与の方針(DP)」⇔「教育課程の編成・実施方針(CP)」との整合	A
0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(1)教育課程の編成・実施方針(CP)と教育課程の整合性はとれていますか。	A
		(2)教育課程の編成にあたっての順次性および体系性への配慮をしていますか。(ナンバリング、カリキュラムマップ)	B
		(3)単位制度の趣旨に沿った単位の設定をしていますか。	A
		(4)個々の授業科目の内容および方法は適していますか。	A
		(5)授業科目の位置づけ(必修、選択等)は適切ですか。	A

0403	教育課程の編成・実施方針(CP)に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成していますか。	(6)各学位課程にふさわしい教育内容を設定していますか。 【学士課程】 初年次教育、高大接続への配慮、教養教育と専門教育の適切な配置等 【修士課程、博士課程】 コースワークとリサーチワークを適切に組み合わせた教育への配慮等	A
		(7)学生の社会的および職業的自立を図るために必要な能力を育成する教育を適切に実施していますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0401・0402 「学生便覧」により、学部学科の DP・CP を在学生に示している[0401・0402a] 0402 「中部大学情報公表」ウェブサイトにより、CP を社会に対し公表している[0402a] 0403 「学生便覧」により、教育目標と卒業要件・教育課程の関連性を在学生に示している[0403a] 「科目ナンバリング表」により、すべての授業科目の分類・難易度等を在学生に示している[0403b] 「カリキュラムマップ」により、学科の教育理念と教育課程との関連性をオープンキャンパス参加者に示している[0403c] 「履修モデル」により、学科の人材育成目標と授業科目との関連性をオープンキャンパス参加者に示している[0403d]	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0403	国際学科の「カリキュラムマップ」・「履修モデル」については、在学生に向けた表示・周知の方法および内容の詳細について、検討する必要がある。
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
シラバス第三者点検により、各学科の CP と個々の授業科目の内容および方法の適合性の確認を行った。

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0403	国際学科の「カリキュラムマップ」・「履修モデル」について、在学生に対してより伝わりやすい形での作成・提示を行う。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠 資料 記号	提出 区分	根拠資料の名称
0401・ 0402	a	A	「学生便覧 2017年度」⑯・⑰・⑱
0402	a	A	「中部大学情報公表」HP「3つのポリシー 国際関係学部 国際学科」 https://www3.chubu.ac.jp/facts_figures/study/3policy/3p_international_studies/
0403	a	A	「学生便覧 2017年度」P.127-135
0403	b	A	「科目ナンバリング表 2017年度」p.16
0403	c	A	国際関係学部 国際学科 カリキュラムマップ
0403	d	A	国際関係学部 国際学科 履修モデル

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果 (2)

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0404	学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じていますか。	(1)各学位課程の特性に応じた単位の実質化を図るため、1年間又は学期ごとの履修登録単位数の上限設定等の措置を講じていますか。	A
		(2)シラバスに次の内容を組み込んでいますか。また、授業はシラバスどおりに行なわれていますか。 ・授業の目的、達成目標、学習成果の指標、授業内容および方法、授業計画、授業準備のための指示、成績評価方法および基準等の明示 ・授業内容とシラバスとの整合性の確保	A
		(3)学生の主体的参加を促す授業形態、授業内容及び授業方法を講じていますか。	A
		(4)授業の編成および管理運営は適切に行っていますか。 【学士課程】 ・授業形態に配慮した1授業あたりの受講者数になるように授業の編成を行っていますか。 ・履修指導等のガイダンスは適切に実施していますか。 【修士課程、博士課程】 ・研究指導計画（研究指導の内容および方法、年間スケジュール）を明示していますか。また計画に基づく研究指導を行うように取り組んでいますか。	A
0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(1)シラバスに掲げている「達成目標」に基づき、成績評価がなされていますか。 ・シラバス記載の「達成目標」「成績評価方法」に基づく成績評価	A
		(2)既修得単位の認定は、明確な定めに基づき適切に行われていますか。 ・規程等に基づく単位認定のプロセス	B
		(3)成績評価の客観性、厳格性を組織的に確認していますか。	B

0405	成績評価、単位認定および学位授与は適切に行っていますか。	(4) 卒業・修了要件を明確に定めていますか。	A
		(5) 学位論文審査がある場合、学位論文審査基準が明確に示されていますか。	B
		(6) 学位審査および修了認定の客観性および厳格性を確保するためにどのような措置を施していますか。	A
		(7) 学位授与に係る責任体制および手続は明確に示されていますか。	A
		(8) 適切な学位授与を行っていますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0404 「ハイブリッド・プロジェクト A・B・C」においては、授業のテーマ設定の段階から受講生と教員によるディスカッションを行い、学生の自主性を尊重しながら教員が必要に応じてサポートしていく形の授業を実施している[0404a]	
0405 オハイオ大学長期研修参加者の修得単位の認定については、学部教授会で審議・承認した内容に基づき、単位認定を行っている[0405a]	
卒業要件は「学生便覧」に明示し、入学の段階から在學生に明示している[0405b]	
第5回・第11回・第12回国際関係学部教授会における当該年度の卒業判定の審議・承認に基づき、学位授与を行った [0405c・d・e]	
長所・特色 《箇条書き》 *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 《箇条書き》 *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0404	ほとんどの授業科目における成績評価の基準等については、学部内で厳密な指針はなく、各担当者の判断に委ねられている。
項目 No.0405	卒業論文の審査基準は特に明文化されておらず、個々の学生の論文審査は指導教授の判断に委ねられている

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
シラバス第三者点検により、シラバス記載項目の確認を行った。	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0405	国際学科の卒業論文の審査に関するガイドライン策定を行う。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料 記号	提出 区分	根拠資料の名称
0404	a	A	2017年度秋学期開講「ハイブリッド・プロジェクトA」シラバス（抜粋）
0405	a	A	オハイオ大学長期研修プログラム参加者の単位認定について（平成28年度以降入学生対象）
0405	b	A	「学生便覧 2017年度」P.129
0405	c	A	平成29年度第5回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0405	d	A	平成29年度第11回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0405	d	A	平成29年度第12回国際関係学部教授会議事録（抜粋）

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 4 教育課程・学習成果 (3)

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0406	卒業認定・学位授与方針(DP)に明示した学生の学習成果を適切に把握および評価をしていますか。	(1)学生の学習成果を測るための指標を定め、成果を確認していますか。 ・学習成果を測るための評価方法や評価指標	B
		(2)成績分布、試験放棄(登録と受験の差)、進級などの実績を学部・学科として把握していますか。 ・学習成果に関する情報の把握と共有	A
		(3)学習成果を把握および評価するために、どのような方法を用いていますか。 《学習成果の測定方法例》 ・アセスメント・テスト ・ルーブリックを活用した測定 ・学習成果の測定を目的とした学生調査 ・卒業生、就職先への意見聴取	B
0407	教育課程およびその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を行っていますか。 ・学習成果の測定結果の適切な活用	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上に取り組んでいますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
0406 1年次秋学期終了時に「国際基礎演習」のクラス代表者によるプレゼンテーションを行うことで、学生の意欲向上とともに、当該年度の入学初年次の総合的な学習成果の検証を行った[0406a] 2年次秋学期の時点で全学生に「中間論文」を作成させ、調査・文章作成の能力についての検証を行い、クラスの代表者による発表会を実施し、プレゼンテーション能力も検証した[0406b・c] 国際文化学科では、5月26日に4年生全員、後半には3年生も全員参加による「卒業論文中間報告会」を実施し、4年生の卒業研究の進捗状況を確認することにより、学習成果の把握を行った[0406d・e]

学生の状況について、学科会議で情報共有を行った[0406f・h] 本学部の進級判定を教授会で審議・承認した[0406g] 0407 国際学科として初の実施となる2年次学生の3・4年次ゼミ配属を当該年度の最重要事項として設定し、既存3学科の実例を踏まえながら、来年度以降の学習効果が最大限に上がることを目標に実施した[0407a・b・c・d・e・f]	
長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 ≪箇条書き≫ *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0406	3年次末時点の学習成果を測るための指標の検討・策定。
0407	学習成果測定結果に基づく教育課程の適切性についての点検

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0406	a	A	中部大学国際関係学部ホームページ「国際基礎演習プレゼン大会・受賞報告」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/23401/
0406	b	A	平成29年度第6回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0406	c	A	中部大学国際関係学部ホームページ「中間論文発表会を終えて」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/23338/
0406	d	A	「国際関係学部国際文化学科2017年度卒業論文中間報告会」ポスター
0406	e	A	中部大学国際関係学部ホームページ「「好きなもの」をテーマに選んで取り組むー国際文化学科卒業論文中間発表会」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/23000/
0406	f	A	平成29年度第3回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0406	g	A	平成29年度第12回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0406	h	A	平成29年度第1～7回国際関係学部学科会議開催通知
0407	a	A	平成29年度第2回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0407	b	A	平成29年度第3回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0407	c	A	平成29年度第5回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0407	d	A	平成29年度第6回国際関係学部教授会議事録（抜粋）

0407	e	A	平成 29 年度第 7 回国際関係学部教授会議事録 (抜粋)
0407	f	A	中部大学国際関係学部ホームページ「10 月 25 日 2 年生対象「3・4 年次所属ゼミ選 択説明会」を行いました」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/23038/

提出区分 … A : 本シートと一緒に提出する資料 B : 現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織 国際関係学部

基準5 学生の受け入れ

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0501	入学者受入れの方針(AP)を定めて、公表していますか。	(1)卒業認定・学位授与の方針(DP)および教育課程編成・実施の方針(CP)を踏まえた方針となっていますか。	A
		(2)明示媒体によって、記述に齟齬はありませんか。 ・入試要項とHP等の媒体間の記述の統一	A
		(3)社会に対し公表していますか。	A
		(4)下記内容を踏まえた入学者受入れの方針(AP)の設定となっていますか。 ・入学前の学習歴、学力水準、能力等の求める学生像 ・入学希望者に求める水準等の判定方法	A
0502	入学者受入れの方針(AP)に基づき、学生募集および入学者選抜の制度や運営体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施していますか。	(1)入学者受入れの方針(AP)と入試形態は整合していますか。 ・求める学生像と入試形態との整合	A
		(2)入学者受入れの方針(AP)に基づき、大学教育を受けるための能力・適性等を判定できる入学者選抜の方法を採用していますか。 ・教育課程の編成・実施方針(CP)と学生募集方法、入学者選抜方法の連関 ・入学者選抜において透明性を確保するための措置	A
		(3)入試委員会等、責任所在を明確にした入学者選抜実施のための体制の適切な整備はなされていますか。	A
		(4)公正な入学者選抜を実施していますか。	A
		(5)入学希望者への合理的な配慮に基づく公平な入学者選抜を実施していますか。	A

0503	適切な定員を設定し、入学者の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理していますか。	(1) 入学定員および収容定員の適切な設定と在籍学生数を管理していますか。 【学士課程】 ・入学定員に対する入学者数比率 ・編入学定員に対する編入学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数比率 ・収容定員に対する在籍学生数の過剰または未充足に関する対応 【修士課程、博士課程】 ・収容定員に対する在籍学生数比率	A
0504	学生募集および入学者選抜は、入学者受入れの方針(AP)に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っていますか。	(1) 学生募集や入学者選抜方法の適切性について検証していますか。 ・学部内委員会等においてエビデンスに基づいた定期的な検証	B
		(2) 点検・評価結果に基づいた改善・向上を行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0501 「中部大学情報公表」ウェブサイトにより、AP を社会に対し公表している[0501a] 0501 「平成 30 年度 AO ポートフォリオ入試入学試験要項」により、受験生に AP を公表した[0501b] 0504 「AO ポートフォリオ入試」の選抜方法についての検討を行い、入試要項に明記した[0504a] 特に当該年度に入学した新生生については、個人情報伏せた上で、出身校・入試種別などの分析を行い、AP に基づいた適切性を学科会議で確認している[0504c]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No. 0504	AO ポートフォリオ入試要項への記載内容について、教授会構成員への確認の後に記載した [0504b]
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない
対象年度内に新たな方式で行われることとなった「AO ポートフォリオ入試」について、受験希望者への事前周知内容、当日の試験実施要領について、学部全体で議論・検討を行った後に実施した。[0504b]

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0504	学生募集および入学者選抜方法の全般にわたる検証と、それに基づく改善・向上の実施。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0501	a	A	「中部大学情報公表」ウェブサイト「3つのポリシー 国際関係学部 国際学科」
0501	b	A	平成 30 年度 AO ポートフォリオ入試入学試験要項 P.6
0504	a	A	平成 30 年度 AO ポートフォリオ入試入学試験要項 P.14
0504	b	A	平成 29 年度第 4 回国際関係学部教授会議事録（抜粋）
0504	c	A	第 2 回国際関係学部学科会議資料「2017 年度国際学科新入生の状況 整理と分析」

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 6	教員・教員組織
------	---------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0602	教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制していますか。	(1)大学全体および学部・研究科等ごとの専任教員数は、適切ですか。	B
		(2)教育理念・目的を実現できる教員組織を編制していますか。(方針等に基づく組織編制の明確化) ・教育上主要と認められる授業科目における専任教員(教授、准教授、講師または助教)の適正な配置 ・研究科担当教員の資格の明確化と適正な配置 ・各学位課程の目的に即した教員配置(国際性、男女比等も含む) ・教員の授業担当負担への適切な配慮 ・バランスのとれた年齢構成に配慮した教員配置	B
		(3)学士課程における教養教育の運営体制を整備していますか。	A
0603	教員の募集・採用・昇格等を適切に行っていますか。	(1)教員人事関連規程が整備され、適切な手続きによる運用をしていますか。 ・教員の募集・採用・昇格等に関する規程の整備および手続きの設定	A
		(2)規程等に従った適切な教員人事(募集、採用、昇任等)を実施していますか。	A
0604	ファカルティ・ディベロップメント(FD)活動を組織的かつ多面的に実施し、教員の資質向上及び教員組織の改善・向上につなげていますか。	(1)FD 活動を組織的に実施していますか。	A
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	A
0605	教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	B
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施している、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0603 「国際関係学部昇格判定基準」を定めている[0603a]	
0604 2017年度に実施したFD活動を報告書としてまとめた[0604a]	
0605 学部構成員の全学および学部内の各種委員会の担当状況をまとめ、構成員の適性と負担の公平性に基づいた委員会運営を行っている[0605a]	
長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 ≪箇条書き≫ *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.0602	学部教員の年齢構成において、若手教員が少ない（学部構成員23名の内訳は、60代7名、50代8名、40代8名で、30代以下は0名）。
項目 No.0604	前年度に比べて、活発なFD活動を行うことができなかった。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0604	2018年度以降、活発なFD活動を計画・実施していく。
0605	教員組織の適切性についての検証を順次行っていく。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0603	a	A	国際関係学部 昇格判定基準（2012年7月18日 国際関係学部教授会承認）
0604	a	A	【国際関係学部】2017年度 学部等におけるFD活動評価点検報告書
0605	a	A	平成29年度国際関係学部各種委員会名簿

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 7	学生支援
------	------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0702	学生支援に関する大学としての方針に基づき、学生支援の体制を整備していますか。また、学生支援は適切に行っていますか。	(2)学生の修学に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の能力に応じた補習教育、補充教育 ・正課外教育 ・留学生等の多様な学生に対する修学支援 ・障がいのある学生に対する修学支援 ・成績不振の学生の状況把握と指導 ・留年者および休学者の状況把握と対応 ・退学希望者の状況把握と対応	B
		(4)学生の生活に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生の相談に応じる体制の整備 ・ハラスメント防止のための体制の整備および啓発活動 ・心身の健康維持・増進および安全への取り組み ・生活支援面において、方針の目的(安全で安定した学生生活を送るための基盤整備等)の支援	A
		(5)学生の進路に関する適切な支援を実施していますか。 ・学生のキャリア支援を行うための体制(学部との協力・連携を含む)の整備 ・進路選択に関わる支援やガイダンスの実施 ・キャリア支援講座などの実施	A
		(6)インターンシップは十分に実施していますか。	A
		(8)学生の要望に対応した学生支援を適切に実施していますか。 キャリア支援、保健管理、スポーツおよび文化活動の強化	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で(誰が)」「どのように(指標・方法)」検証を行い、「どのように(基準)」自己点検していますか。
--

0702 学科主任、指導教授、事務長が「学生チャート」を活用し、学生の単位取得率や授業出席率を適宜確認、特に新入生の春学期の出席率について、最低でも2～3週に一度は確認を行い、欠席しがちな学生への電話連絡や面談を適宜行うと共に、学科主任、主任補佐、スタートアップセミナー担当者を中心に情報共有も行っている[0702g]。 学生のキャリア形成に資するため、特に学生の関心の高い業界で活躍している卒業生と在学生との懇談会を随時開催している。[0702a・b] 学部独自の正課外教育として、学外でのゼミ報告会・合宿等を行っている[0702c・d・e・f]	
長所・特色 ≪箇条書き≫ *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.0702	卒業生との懇談会について、学部全学生にチラシを配布し、周知した[0702a]
項目 No.	
課題事項 ≪箇条書き≫ *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない	
0702	旅行・運輸業界に対する本学部学生の関心度の高さに応えるため、11月15日にセントレア館内の顧客対応に従事している卒業生を招き、学生との懇談会を実施した[0702a・b]

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)
0702	所轄部署に「学生チャート(2018年度から学修ポートフォリオ)の操作説明会」の開催を要請し、学部構成員のさらなる理解向上と意識喚起を推進する。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0702	a	A	「中部国際空港旅客サービス株式会社 ○○○○先輩と語る会」告知チラシ
0702	b	A	国際関係学部ホームページ「11月15日 ○○○○先輩と語る会を開催しました」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/23133/
0702	c	A	国際関係学部ホームページ「ゼミ活動として、名古屋地裁の法廷見学を行いました」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/11337/
0702	d	A	国際関係学部ホームページ「名古屋キャンパスでのゼミ研究報告会」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/12851/
0702	e	A	国際関係学部ホームページ「愛知県美術館でのゼミ実習 大エルミタージュ美術館展」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/13011/
0702	f	A	国際関係学部ホームページ「勉強と遊びに全力で取り組んだ海辺の合宿ー加々美ゼミ in 南知多」 https://www3.chubu.ac.jp/international/news/22942/
0702	g	A	平成29年度第1～7回国際関係学部学科会議開催通知

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 8	教育研究等環境
------	---------

1. 点検・評価結果 < 評定 >

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0802	教育研究等環境に関する方針に基づき、必要な校地および校舎を有し、かつ運動場等の教育研究活動に必要な施設および設備を整備していますか。	(1)教育課程の特徴、学生数、教育方法に応じた施設・設備の充実を図っていますか。	C
0806	教育研究等環境の適切性について定期的に点検・評価を行っていますか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っていますか。	(1)適切なエビデンスに基づく点検・評価を実施していますか。	C
		(2)点検・評価結果に基づく改善・向上の取り組みを行っていますか。 ・年度重点目標の設定	C

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0802 教育研究環境の整備および適切性の問題について、疑義があれば教授会でも議論・検討を行った後、所轄部署への改善要請を行うが、近年において特段の問題点の指摘はなかった。	
0806 「平成30年度教育・研究に係る事業計画と予算の提案」を行った[0806a]	
長所・特色 << 箇条書き >> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 << 箇条書き >> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

< 向上・改善の進捗状況 >

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
0806	20号館1階学生ラウンジに設置の「デジタル・サイネージ」のコンテンツの充実によるより一層の活用

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0806	a	A	平成30年度の学部等重点事業計画について（国際関係学部）

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準9 社会連携・社会貢献

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
0902	社会連携・社会貢献に関する方針に基づき、社会連携・社会貢献に関する取り組みを実施していますか。また、教育研究成果を適切に社会に還元していますか。	(2)社会連携・社会貢献に関する活動による教育研究活動を推進していますか。	B
		(3)地域交流・国際交流事業への参加などに取り組んでいますか。	A

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施して、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
0902 「平成 29 年度 中部大学教員免許状更新講習」にて、河内教授が講演を行った[0902a・b] シニア大学（中部大学アクティブアゲインカレッジ）に、春学期に3名、秋学期に4名の本学部教員が講師として参加した[0902c] 地域連携講座（2講座・計6回）に、2名の本学部教員が講師として参加した[0902d]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.	
項目 No.	

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

--

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策 (到達目標を含む)

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
0902	a	A	平成 29 年度 中部大学教員免許状更新講習日程表
0902	b	A	シラバス「激動する国際関係のダイナミズム」
0902	c	A	平成 29 年度 CAAC 非常勤講師【国際関係学部 国際学科】
0902	d	A	2017 年度エクステンション・公開講座実施一覧

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管

2018 年度(対象年度:2017 年度)自己点検・評価シート

自己評価組織	国際関係学部
--------	--------

基準 11 大学独自の評価項目

1. 点検・評価結果 <評定>

自己評価欄に「A：適切に取り組んでいる」「B：概ね取り組んでいる」「C：改善すべき点がある」「D：今後取り組んでいく」の4段階で記入してください。

項目 No.	自己点検・評価項目	自己点検・評価の視点	自己評価
1120	管理運営組織および教育研究組織において、持続的に業務内容の点検を行っていますか。	(2)委員会活動の検証 ・開催、および議事録作成に関する手続きは、適切に行っていますか。	B

2. 自己点検・評価

対象年度における組織の状況を自己点検・評価し、その内容を、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて「自己点検・評価項目」毎に具体的に説明してください。

現状、「何を」規定または実施していて、「いつ」「どの会議で（誰が）」「どのように（指標・方法）」検証を行い、「どのように（基準）」自己点検していますか。	
1120 学部内で開催された委員会での検討・決定事項については、学部教授会での報告により、教授会議事録に記載されるよう、配慮を行っているものの、完全に網羅されていると言えない。また、学部内委員会自体の議事録については、作成されていないのが現状である[1120a]	
長所・特色 <<箇条書き>> *先駆性や独自性があるもの、有意な成果がみられるもの、他の組織の範となるもの	
項目 No.	
項目 No.	
課題事項 <<箇条書き>> *向上すべき点、改善すべき点	
項目 No.1120	学部内委員会の検討・決定事項が漏れなく教授会で報告されているわけではない。
項目 No.1120	学部内委員会について、学部外にまで公開できる議事録が作成されていない（議事進行や運用に必要な資料やメモを除く）。

3. 向上・改善に向けた取り組み

向上・改善に向けた取り組みについて、第三者が理解できるように、根拠資料を用いて具体的に説明してください。

<向上・改善の進捗状況>

対象年度における取組 *成果の有無を問わない

<今後の向上・改善計画>

項目 No.	課題事項と向上・改善方策（到達目標を含む）
1120	学部内委員会での検討・決定事項については、すべて学部教授会での報告が行われるよう、構成員への周知徹底を行う。
1120	すべての学部内委員会について、ごく簡潔な形でも議事録が残るよう、学部内の共通フォーマットを策定し、構成員への周知徹底を行う。

4. 根拠資料

項目 No.	根拠資料記号	提出区分	根拠資料の名称
1120	a	B	平成 29 年度 第 1 回～第 13 回 国際関係学部教授会議事録

提出区分 … A：本シートと一緒に提出する資料 B：現部署で保管